

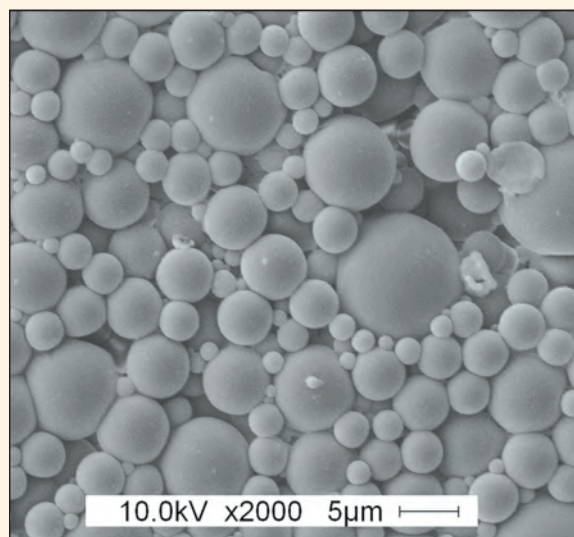
25年度補正



株式会社サクラクレパス鹿児島工場

マイクロカプセルの生産システム向上による 生産数量アップ

マイクロカプセル合成後のウェットケーキ乾燥機及びカプセルの粒径測定器を導入することにより、製造工数を1/4に短縮し、月産数量約3.9倍に改善する。



事業の背景と目的

温度によって色が変わる示温顔料はマイクロカプセルでできている。鹿児島工場にて合成後のカプセル粒径測定は大阪工場ですでに測定に時間がかかることと、サンプリング品を大阪工場に送付し合格の連絡を受けるまで工程を止める必要があることが問題であった。カプセルの粒径を精度良く測定できる粒度分析計を導入することにより、カプセル合成後に短時間で合否判定ができるようになり、工数低減が可能となる。

事業内容と成果

粒度分析計と円錐型リボン真空乾燥機を導入した。粒度分析計を導入したことで、自社で測定できるようになりリードタイム短縮が可能となった。また、円錐型リボン真空乾燥機は、これまで乾燥に3～5日を要していたが、今後は1日で乾燥を終えることができるようになり工数低減が可能となった。今回の補助事業で格段に製造効率を向上させることができ、示温インキメーカーとしての事業拡大が期待できる。



サクラクレパスの商品群



マイクロカプセルを印刷した商品



取材風景（田中次長）

事業取り組み後の成果

事業取組前は所要日数最長12日で月産数量70kgであったが、導入後は所要日数3日で月産数量も270kgとなり、納期短縮と共に生産効率がアップした。これに伴い大手フィルムメーカーに提案して現在も印刷適性や品質について検証を進めているところで、この設計が完了すれば今までの年間数量では賅えない量のマイクロカプセルが必要となる予定である。

達成要因

導入前の粒径検査はサクラクレパス大阪工場でのSEM（電子顕微鏡）によるカウント方式で技術力と測定時間を要し、更に乾燥も温風乾燥方式で所要日数は最長12日を要していた。今回の粒度分析計と円錐型リボン真空乾燥機の導入により自社での粒径検査が可能となり、乾燥も含めて3日で終わることができ、リードタイムの大幅短縮で生産効率を向上させることができた。

今後の取り組み

今まではリードタイムが長く月産数量も少なかったことから、親会社の営業活動に支障を及ぼすこともあったが、今後は親会社からの発注に対し、迅速に生産対応することが可能となる。またマイクロカプセルの品質についても自社で検査することが可能となり、確実な品質を提供することができる。

温度で色を自在に操るスペシャリスト・サクラクレパス



親会社である株式会社サクラクレパスから発注依頼（示温顔料の種類や生産数量）を受けて製造・納入している鹿児島工場における必要な取組みは工程改善であり、製造現場のムリ・ムダ・ムラを徹底して省き、生産性の向上を図る中で製造原価の低減に取り組み、利益の確保を図ることがますます重要になってくる。

企業PR

サクラクレパスは教育・文化に貢献することを社是に掲げ、色彩の専門家として、教育現場だけでなく、医療・エレクトロニクス・ビジネス・家庭向け等、あらゆる分野に向けて適した材料の研究・開発を行い、最適な商品を世の中に提供し続けています。



事業者 株式会社サクラクレパス鹿児島工場
代表者 代表取締役社長 久木山 元成
設立年月日 昭和46年2月1日
所在地等
[本社] 〒893-1103
鹿児島県鹿屋市吾平町麓2834-1
TEL 0994 (58) 6066 / FAX 0994 (58) 6721

資本金額 1,000万円
従業員数 123名
業 種 その他の製造業